

# 決算報告

## 令和2年度 剣淵町各会計

令和3年10月に開催された町議会臨時会において、令和2年度決算が認定されました。

町民の皆様から納めていただいている町税や、国や道から交付されたお金がどのように使われているのか、各会計の決算の状況をご報告いたします。

町は令和2年度の事業を行うにあたり、『安定した産業振興とブランドの流通化、福祉・医療の拡充と次世代の教育推進、安心安全な地域の絆づくりと環境整備、関係人口の構築と発展的観光づくりへ』を重点事項とした施政方針を基に各種事務事業を実施しました。

また、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策事業も多く実施しました。

健全財政の維持に努め、一般会計、特別会計ともに黒字決算となり、歳入歳出差引残高は1億1,444万円になりました。

また、そのうち一般会計では6,000万円、介護保険事業特別会計では400万円を基金に積み立てし、決算審査において適正に執行していると認定されています。

町は、今後も健全財政の堅持を基本に、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進と産業の振興、教育・文化・福祉など調和のとれた行政推進に努めます。

## 用語解説

### ● 地方交付税

国から町へ交付される税のこと。

行政を行うために必要な経費を、所得税、法人税、酒税、消費税およびたばこ税の中から一定の割合で交付されます。

割合は地方公共団体の財政力により変わります。

### ● 国庫支出金

国から町へ交付される給付金のこと。

特定の事務事業に対して、負担金、補助金、委託金などの名称に分けられ交付されます。

### ● 道支出金

国庫支出金と同様に、道から町へ交付される給付金のこと。

### ● 町債（地方債）

町が資金を調達するために借金すること。

返済は数年にわたります。

### ● 地方譲与税

国から町へ譲与される税のこと。

行政を行うために必要な経費を、国税として徴収した地方揮発油税などの一部が譲与税として国から地方に交付されます。

### ● 基金

町が財産や資金の積み立てをするのこと。

### ● 繰入金

町の各会計（一般会計、特別会計、基金など）の中でお金の移動をすること。

### ● 繰越金

その年の会計年度から翌年の会計年度へ持ち越した金額のこと。

### ● 自主財源

町が自主的に収入できる財源のこと。

地方税、分担金および負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金、諸収入のこと。

### ● 依存財源

国や道が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入のこと。

地方債も含まれます。

### ● 歳入

1年間の収入のこと。

### ● 歳出

1年間の支出のこと。

# 令和2年度の主な事業

## 防災行政無線(同報系)設備更新事業

防災行政無線のデジタル化への対応、また、設備の老朽化のため更新整備しました。

2億1,395万円



## 東中央団地公営住宅建設工事

公営住宅等長寿命化計画に基づき、西町に1棟4戸の公営住宅を整備しました。

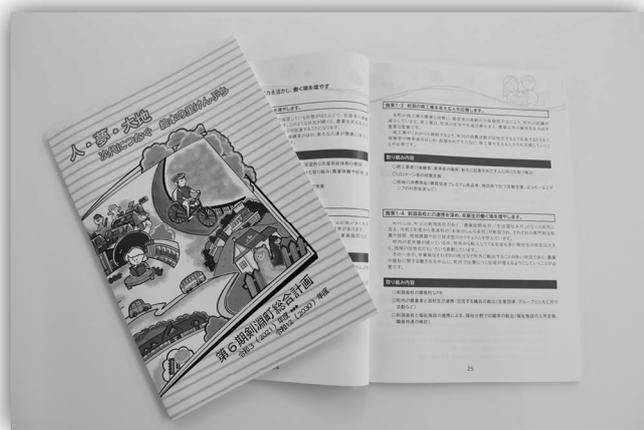
1億2,462万円



## 総合計画推進事務

令和3年度～令和12年度の剣淵町のまちづくりに関する計画を策定しました。

428万円



## GIGA(ギガ)スクール構想事業

国の方針を受け、小・中学校の情報通信ネットワーク環境を整備し、一人一台タブレット端末を導入しました。

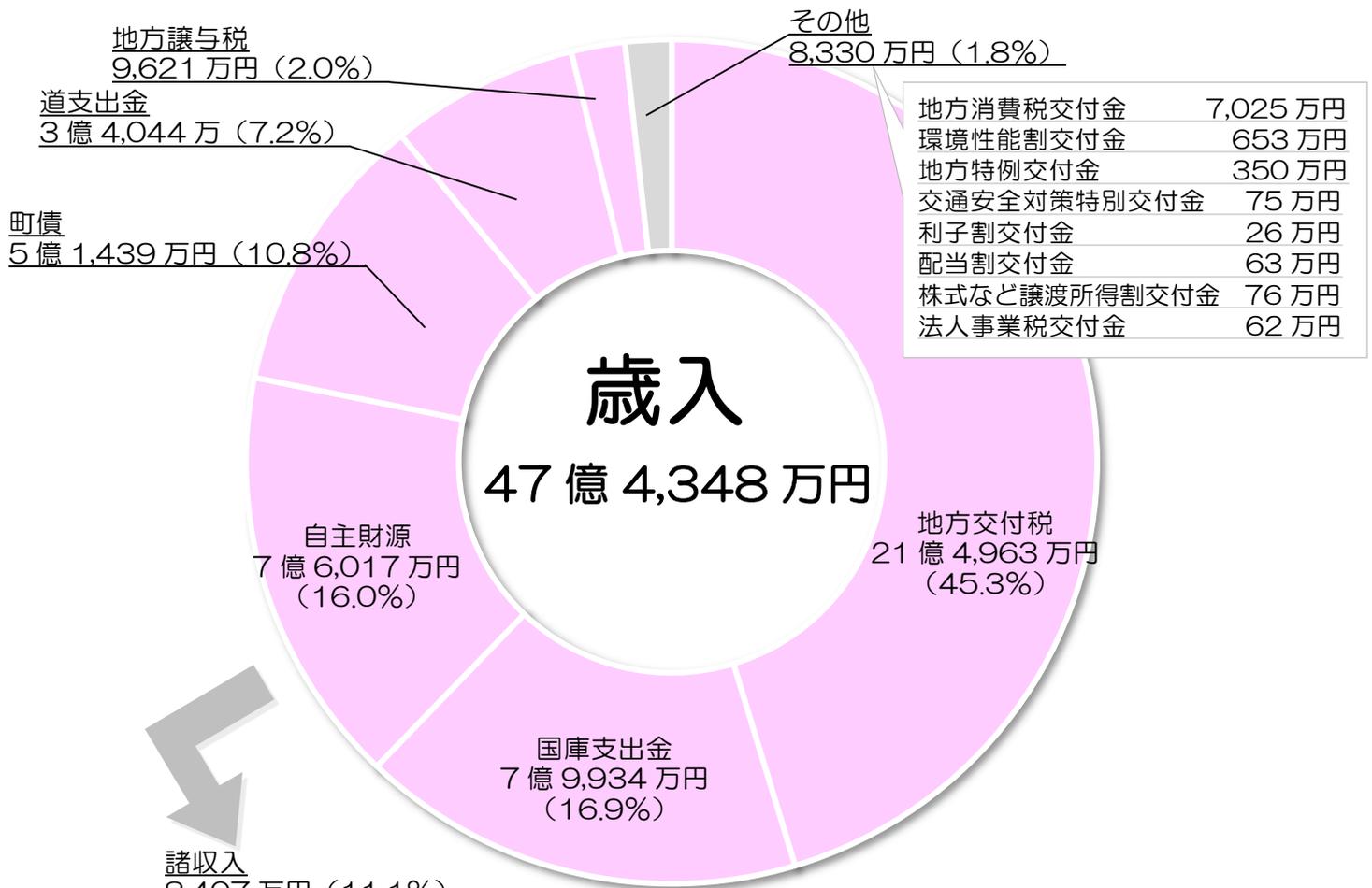
3,543万円



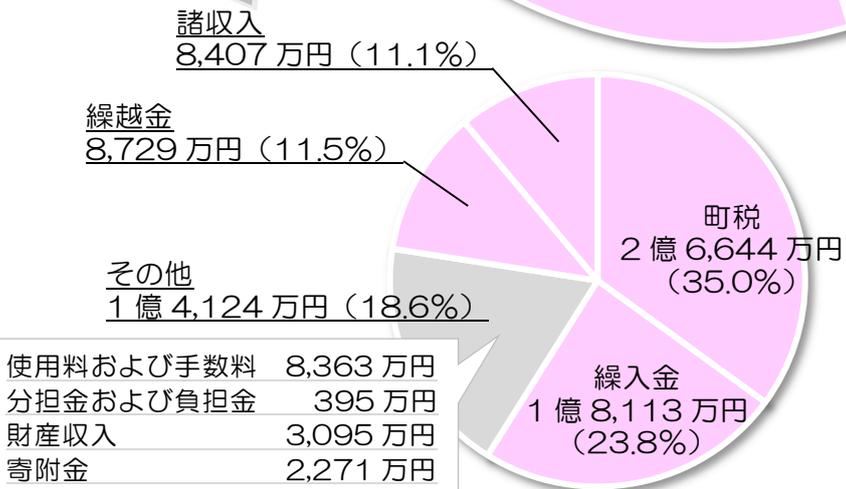
# 令和2年度の主な新型コロナウイルス感染症対策事業

特別定額給付金給付事業	3億662万円
購買促進プレミアム付商品券購入事業	1,602万円
子育て世帯への臨時特別給付金事業	336万円
高齢者・弱者世帯等緊急生活支援事業	346万円
福祉施設・事業所への感染予防・安全安心対策支援事業	454万円
新型コロナウイルスワクチン接種業務	232万円





地方消費税交付金	7,025万円
環境性能割交付金	653万円
地方特例交付金	350万円
交通安全対策特別交付金	75万円
利子割交付金	26万円
配当割交付金	63万円
株式など譲渡所得割交付金	76万円
法人事業税交付金	62万円

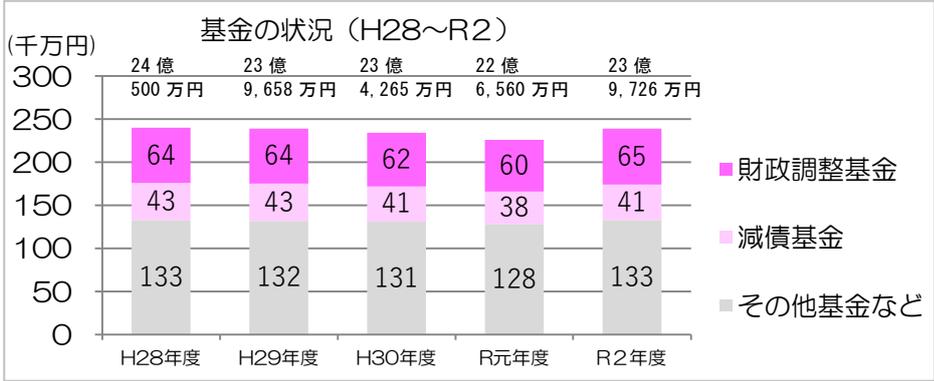


使用料および手数料	8,363万円
分担金および負担金	395万円
財産収入	3,095万円
寄附金	2,271万円

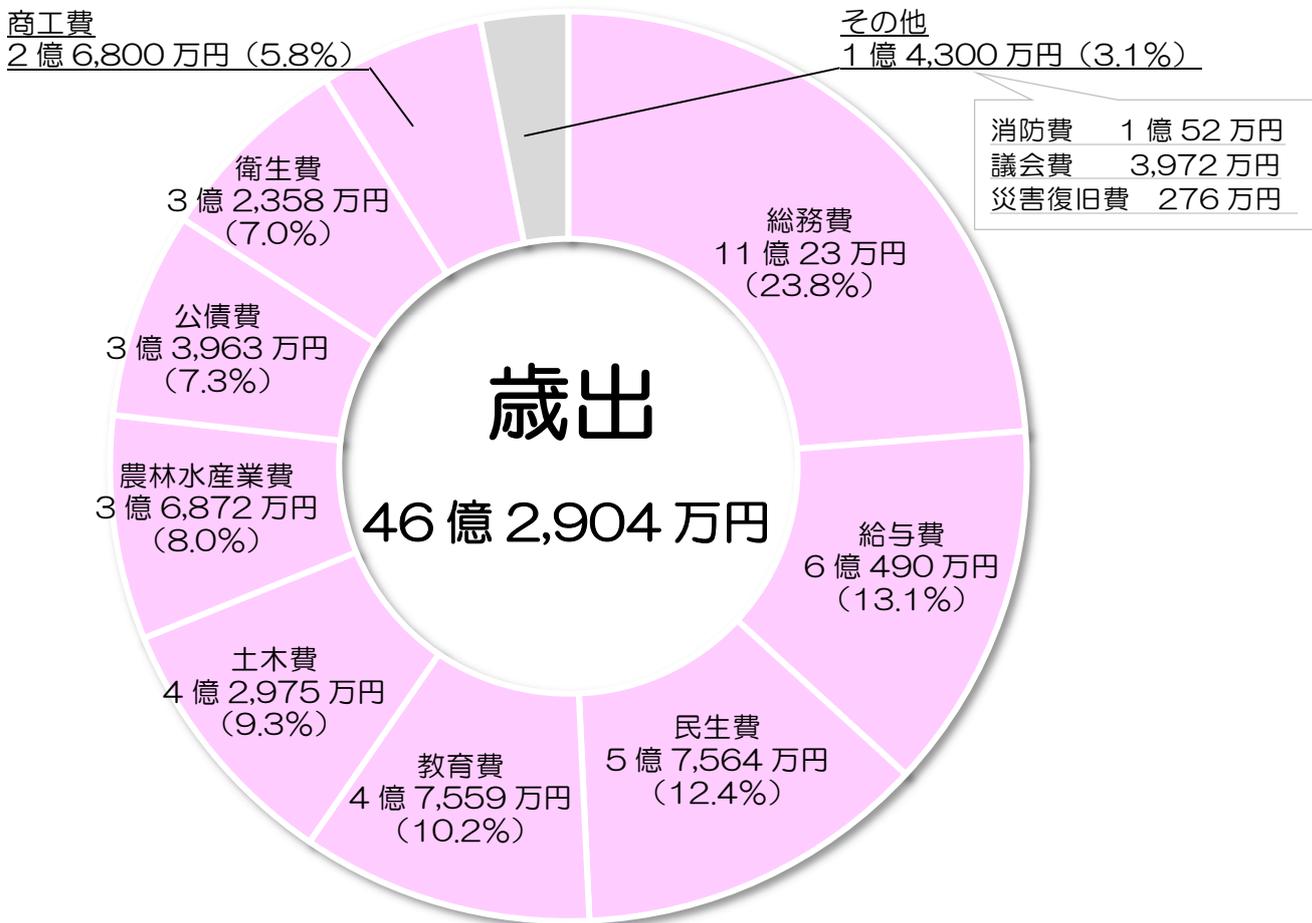
**ふるさと応援寄附金**  
 1,214件:21,662,000円  
**一般寄附金・指定寄附金**  
 8件: 1,050,000円  
 ※いただいた寄附につきましては、剣淵町のために有意義に使わせていただきます。誠にありがとうございました。

### ◆町税収入の状況

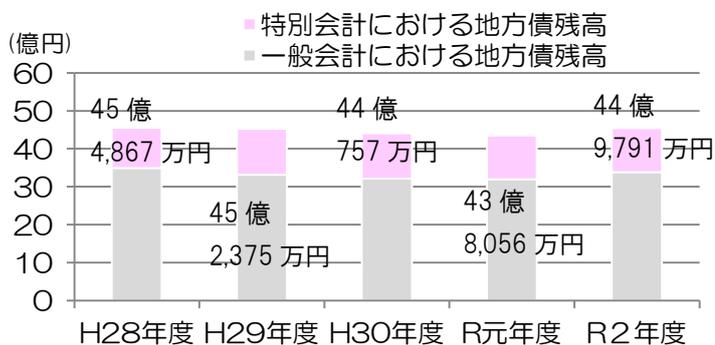
税目	令和元年度決算額	令和2年度決算額	増減額	令和2年度収納率
町民税	1億2,187万円	1億2,038万円	▲149万円	98.6%
固定資産税	1億1,521万円	1億1,598万円	77万円	99.0%
軽自動車税	1,280万円	1,322万円	42万円	98.6%
町たばこ税	1,648万円	1,643万円	▲5万円	100.0%
入湯税	116万円	43万円	▲73万円	100.0%
合計	2億6,752万円	2億6,644万円	▲108万円	98.9%



・財産に関する調書および基金運用状況調書より  
 (令和3年5月末現在高)  
 その他は、特別会計、北海道市町村備荒資金組合納付金を含む。



消防費 1億52万円  
議会費 3,972万円  
災害復旧費 276万円



◆令和2年度 一般会計実質収支の状況

歳入決算額 (A)	47億4,348万円
歳出決算額 (B)	46億2,904万円
歳入歳出差引額 (C) = (A) - (B)	1億1,444万円
翌年度繰越財源 (D)	433万円
実質収支額 (C) - (D)	1億1,011万円

※実質収支額のうち6,000万円を地方自治法第233条の2の規定により、基金に積み立てました。

◆令和2年度 特別会計決算状況

特別会計決算状況	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残高	左のうち 基金繰入金	翌年度へ繰り 越すべき財源
国民健康保険事業特別会計	5億5,904万円	5億5,479万円	425万円	—	0円
国民健康保険剣淵町立 診療所特別会計	1億152万円	9,145万円	1,007万円	—	0円
後期高齢者医療特別会計	6,529万円	6,285万円	244万円	—	0円
介護保険事業特別会計	4億7,613万円	4億5,567万円	2,046万円	400万円	0円

◆令和2年度 企業会計決算状況

企業会計決算状況	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引残高	左のうち 基金繰入金	翌年度へ繰り 越すべき財源
簡易水道事業特別会計	1億1,006万円	1億728万円	278万円	—	0円
下水道事業特別会計	2億3,790万円	2億3,446万円	344万円	—	0円